

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2012年5月17日

5月17日(木)にがん進展制御研究所棟 4階会議室において、東京大学 大学院医学系研究科・医学部微生物学研究室 島山 昌則教授を迎え、「ピロリ菌による胃がん発症機構」と題して、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、ピロリ菌が産生するCagA蛋白がどのように胃がん発生に関与しているのか、その分子機序について最新の研究成果まで示されるとともに、CagA遺伝子がどこから来たのかという、とても興味深いお話しも含めてご講演頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約40名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



がん進展制御研究所セミナー

ピロリ菌による胃がん発症機構

講演者

東京大学大学院医学系研究科
医学部 微生物学研究室・教授

畠山 昌則 先生

日時：平成24年5月17日(木) 16:30～17:30

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

畠山昌則先生は、これまでにCagA遺伝子を保有するピロリ菌の持続感染が胃がん発症に必須の役割を担うことを明らかにされてきました。CagAによる癌タンパク質SHP-2の脱制御機構および発がん機構の解明(*Science*, 2002、*Mol Cell*, 2011)、CagAによる上皮細胞極性の破壊(*Nature*, 2007、*JBC*, 2011)、生体内におけるCagAの発がん活性(*PNAS*, 2008)、など、多くの興味深い発見を続けて報告されています。講演では、畠山先生の最新の知見をお話していただける予定です。

皆様奮ってご参加、ご討論下さい。

連絡先：大島（がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野 内線6760）